

- 日 時 平成25年8月8日（木）10：40 ～11：12
- 場 所 中央合同庁舎4号館 共用第2特別会議室
- 出席者 山本大臣、伊達副大臣、久間議員、原山議員、青木議員、内山田議員、橋本議員、平野議員、大西議員
松元事務次官、倉持統括官、中野審議官、森本審議官、山岸審議官

○議事概要

議題1. 平成25年度科学技術戦略推進費 政策立案調査実施方針案について

○原山議員 まず、議題1のほうに入らせて頂きます。25年度科学技術戦略推進費政策立案調査実施方針案について、事務局から説明して頂きます。

<内閣府 中川企画官、田中耕太郎参事官、北窓参事官から説明>

○原山議員 本日も伺いたいことは、以上の2件に関しまして科学技術戦略推進費を活用して調査を行うということをお認め頂ければと思います。如何でしょうか。御意見御座いましたら。前回少し議論をさせて頂いたもので御座います。大西議員、どうぞ。

○大西議員 中身は両方大事な調査だと思っていて、異議はないのですが、最初のほうの調査の配分予定額というのが4億程度というのは、調査のボリュームから何となく想像がつかないのですが、これは具体的に何をやるとこんなにお金が必要なのでしょうか。

○田中耕太郎参事官 前回の第3期のフォローアップの時は、概ね12の調査項目、主要な項目が御座いまして、簡単に申し上げますと、主要国の政策、科学技術に関する政策動向の分析、日本と主要国のインプット、アウトプットの比較分析、イノベーションの経済分析、内外研究者へのインタビュー調査等が御座いまして、合計で3億9,220万円がかかっており、それを踏まえたもので御座います。

○中川企画官 補足させて頂きますと、実際の額は今積算を致しまして、これから財務省とも積算額について、協議をした上で最終的に決定するという形になって御座います。基本的な考え方は、今御説明した通りで御座います。

○大西議員 今回も前回の12に匹敵するぐらいの項目が、12並んでいないようですけれども、これ分けていくと並んでいるということなのですね。

○田中耕太郎参事官 はい、そこまでの詳細は記載しておりませんが、さよう御座います。

○大西議員 分かりました。

○原山議員 中身の詰めに関しては今後更にやっていくということで、やりたいのは前回よりか更に改善したものにしたということを先程説明して頂きました。平野議員、どうぞ。

○平野議員 調査されることは全然問題ないと思いますけれども、質問があります。従来の論文数や特許数等のアウトプットに加えて、今後はもっと質というか、アウトカム、インパクトということが大事だと、私もそう思いますけれども、これは論文数とか特許数に比べて、客観的な結論を導き出すのは非常に難しいと思います。この調査を行うにあたって、何か客観的にしていくアイデアをお持ちなのでしょうか。そうでないと、ただ調査をして結果が出ないということもあると思いますが。

○田中耕太郎参事官 例えばどれほど科学技術イノベーションが産業に結びついているのか、最近の液晶のIGZOや、再生医療関係のiPS等、今の時点で産業とか実用化というところ、そこは議論があるかと思っておりますけれども、そうなる可能性も高いだろうと。そういったものについて、どれほどあるのか、詳細は今後詰めていくということで御座いますけれども、例えばそういうようなことを考えているところで御座います。

○原山議員 補足ですが、この類の調査というのは日本だけではなく、ヨーロッパ、アメリカでやっております。それを参考にしながら、それから国内でもSciREXというプログラムが走っていて、そこでの研究成果も活用しながらというふうに多面的に既存のモデルを上手く使いながら進めたいと思っております。以上ですが、御承認頂ければ次のフェーズに移ることが出来ますので、如何でしょうか。宜しいでしょうか。有難う御座いました。

議題2. 平成26年度アクションプラン対象施策の特定及びイノベーション環境創出の取組について（検討状況の中間報告）

（率直な意見交換の場とするため非公開）